
令和6年度
自治会・町内会の業務効率化に向けた状況調査
調査結果【速報版】

令和6年11月
市民生活部 市民協働課

I 調査概要

1. 調査の目的

- ・少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの変化により、多くの自治会・町内会が運営に係る負担の増大、役員の担い手不足、活動者の減少といった課題を抱えています。
- ・本市では、こうした自治会・町内会の負担軽減策の一つとして、スマートフォン、パソコンなどの電子機器や、インターネットを活用した情報通信（以下、ICTという）の活用に向けた支援のあり方について検討しています。
- ・本調査は、自治会・町内会におけるICT活用の状況や導入の意向を確認するとともに、今後の支援の基礎資料とするため、会長職や役員に関すること、活動の状況についてお聞きしました。

2. 調査の設計

- (1) 対象者：市内のすべての自治会長・町内会長 2,053名
- (2) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）、電子回答あり、無記名
- (3) 調査期間：令和6年8月19日～9月17日
- (4) 配付数・回収数・回収率

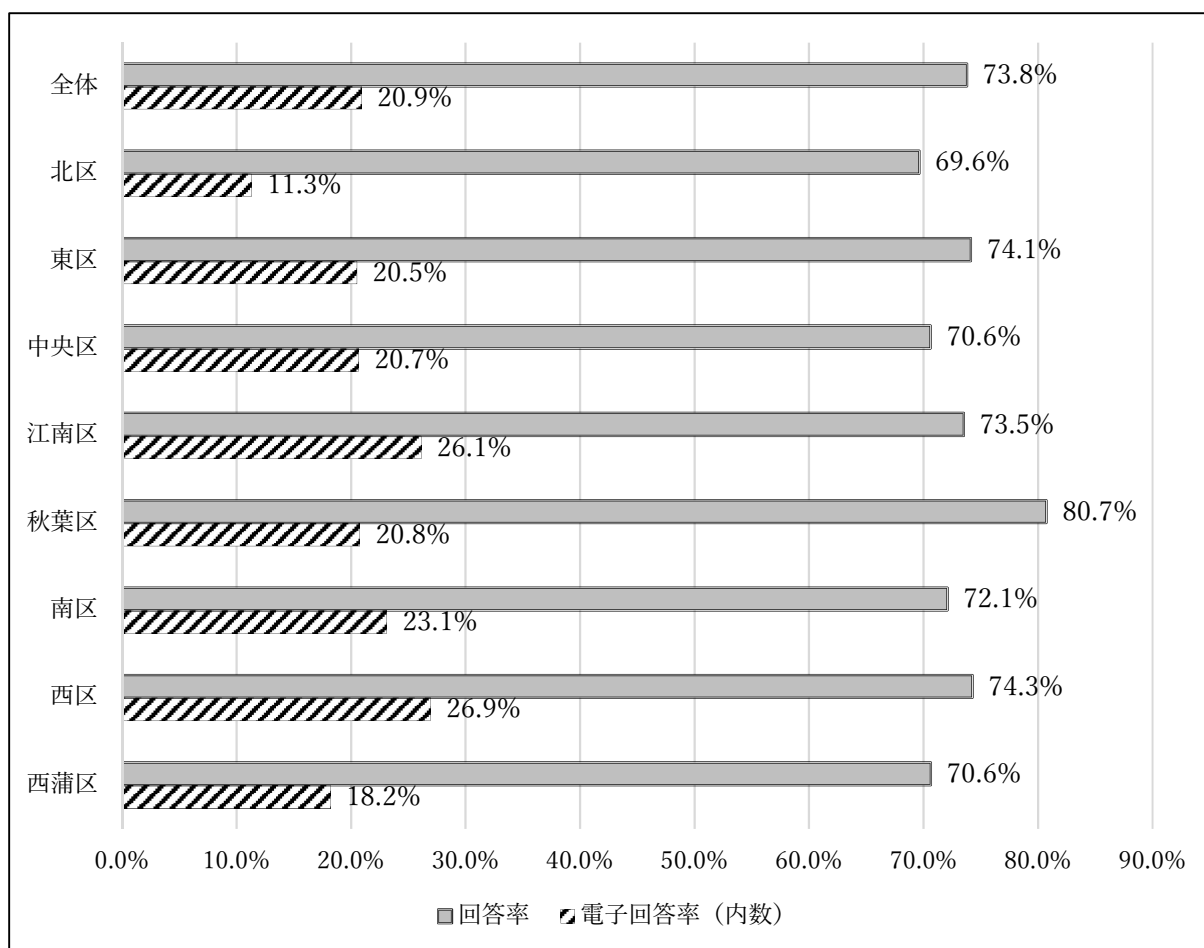
配付数	回収数	回答率
2,053	1,515	73.8%※

※区別の回答率は、図1のとおり

3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計100%にならないことがあります。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。
- (4) 本調査結果は、単純集計したもので、速報版として公開します。今後、分析結果については、別途作成し、公開します。

図1 区別回答率 (n=2,053)



【全体結果】

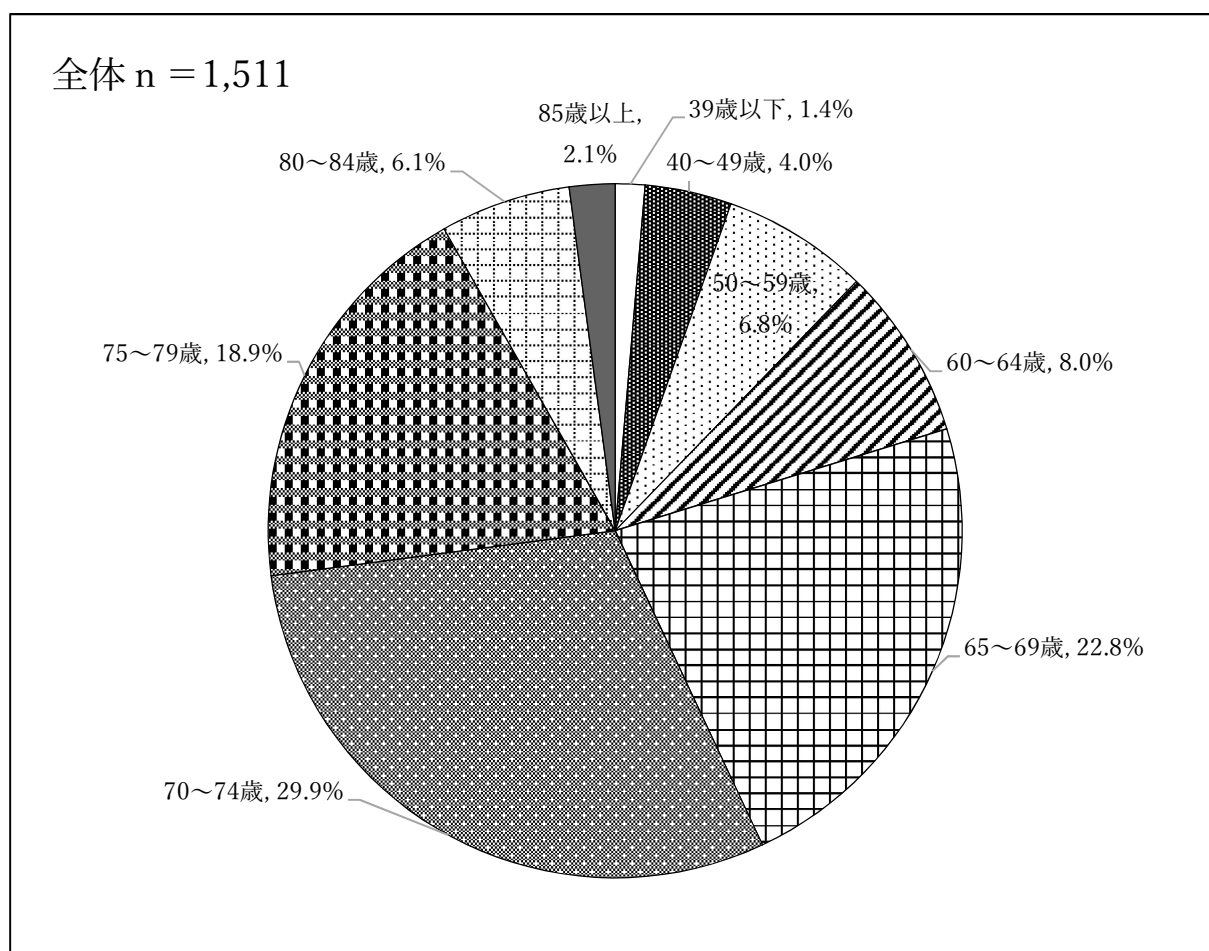
無記名調査としたことで、7割を超える回答が集まった。区別では、秋葉区がトップで8割を超え、電子回答は西区が一番多く26.9%となった。

Ⅱ 調査結果

1. 会長ご自身について

問1. 8月1日現在の会長の年齢と性別をお答えください。
(番号に○をつけてください)

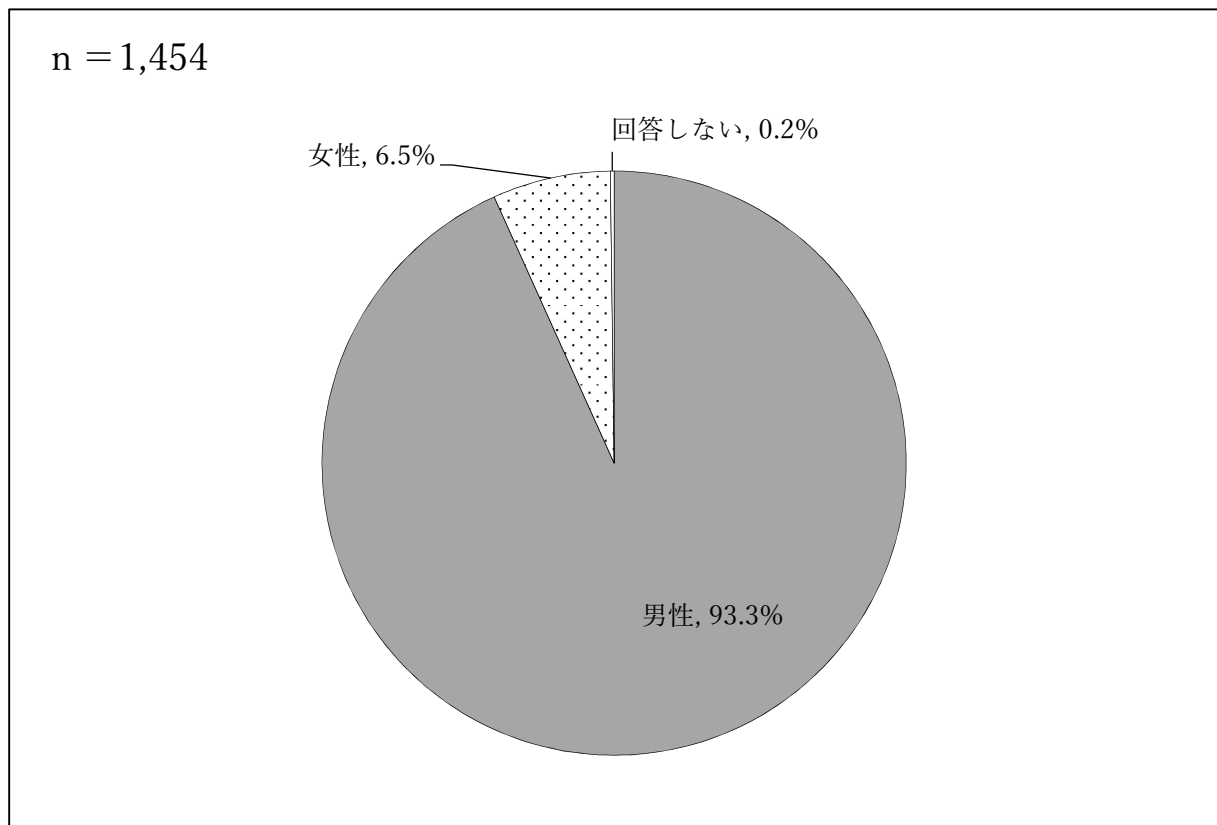
【年齢】



【全体結果】

会長の年齢について、「70～74歳」(29.9%)が最も多く、約3割を占めた。次いで「65～69歳」(22.8%)が約2割を占め、65歳～74歳で半数以上を占めている。一方、50歳代以下は、合計しても1割台となった。

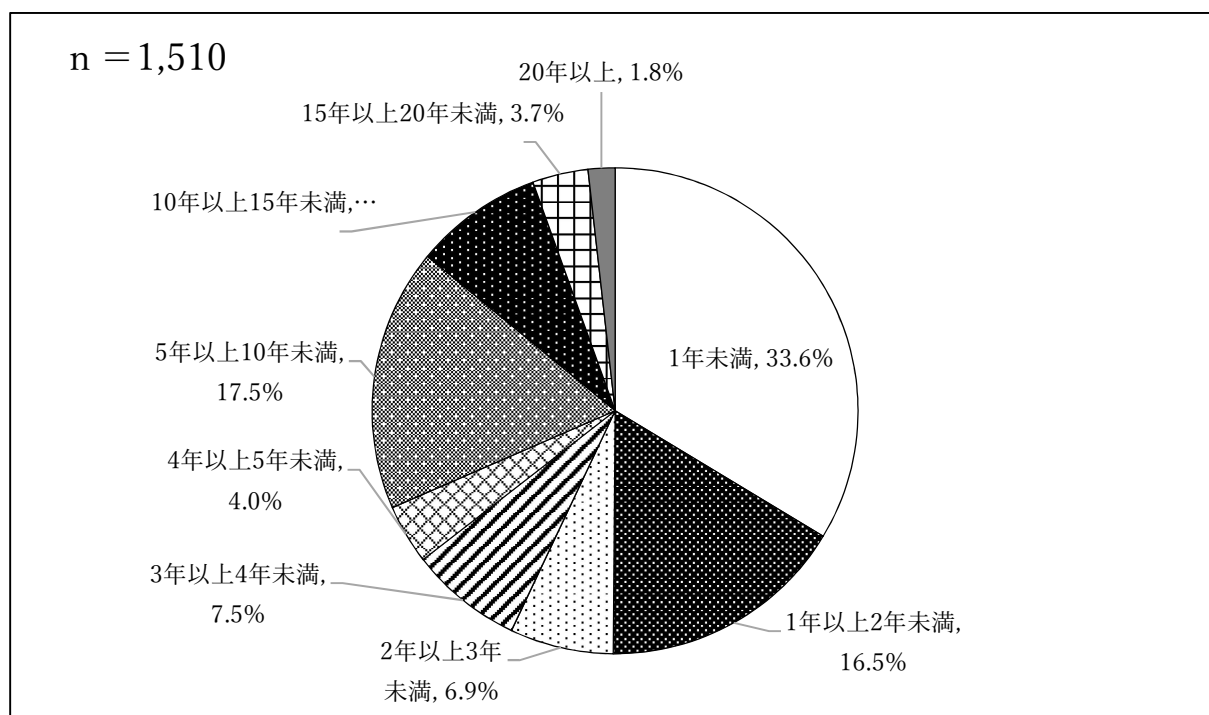
【性別】



【全体結果】

性別について、「男性」(93.3%)が9割以上を占めた。

問2. 会長に就任してからの在職年数をお答えください。
(番号に○をつけてください)



【全体結果】

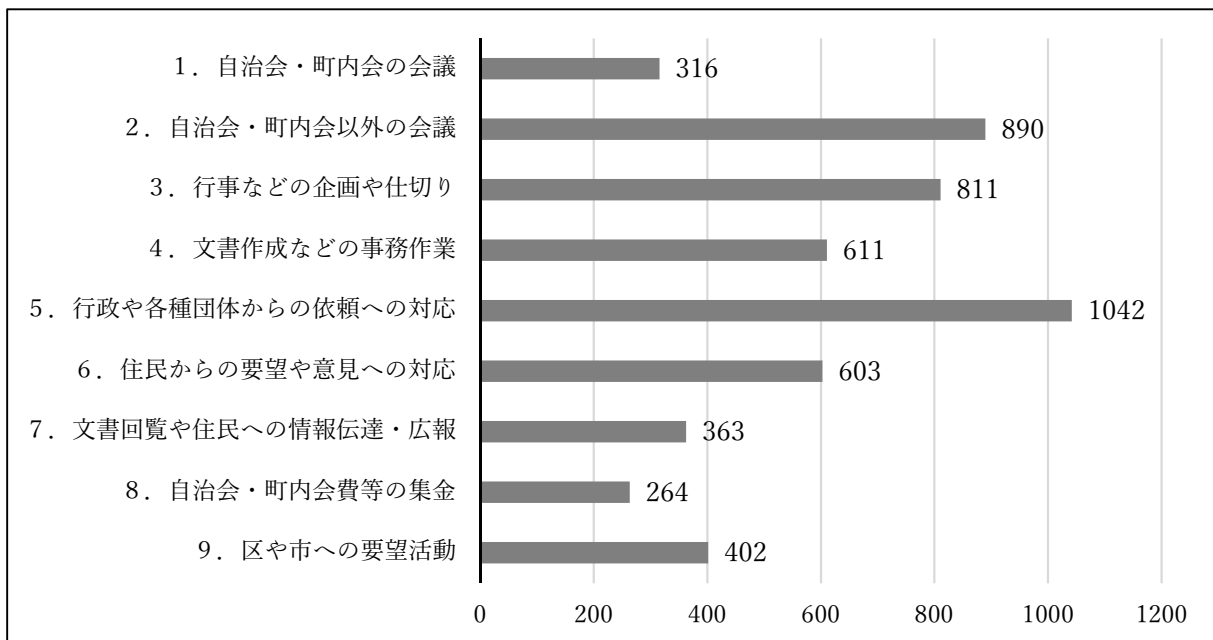
在職年数について、「1年未満」(33.6%)が最も多く、3分の1を占めた。次いで、「1年以上2年未満」(16.5%)となり、2年未満が半数以上となった。一方、5年以上10年未満(17.5%)と「10年以上15年未満」(8.5%)の合計が、4分の1以上を占めている。

問3. 自治会長・町内会長としてのご苦勞や負担についてお答えください。

1) 以下の項目でご苦勞や負担を感じていますか。項目ごとに該当する欄に○を1つ付けてください。

※次の配点により点数化して比較した。(点数が高いほどご苦勞や負担が大きい)

とても感じる	2点
どちらかというと感じる	1点
どちらとも言えない	0点
どちらかというと感じない	-1点
ほとんど感じない	-2点



【全体結果】

ご苦勞や負担について、「行政や各種団体からの依頼への対応」(1,042点)が最も高く、「自治会・町内会費等の集金」(264点)が最も低くなった。負担を「感じない」という回答より「感じる」という回答の方が多数を占めた。

2. 自治会・町内会の役員や運営について

問4. 役員の数と構成をお答えください。

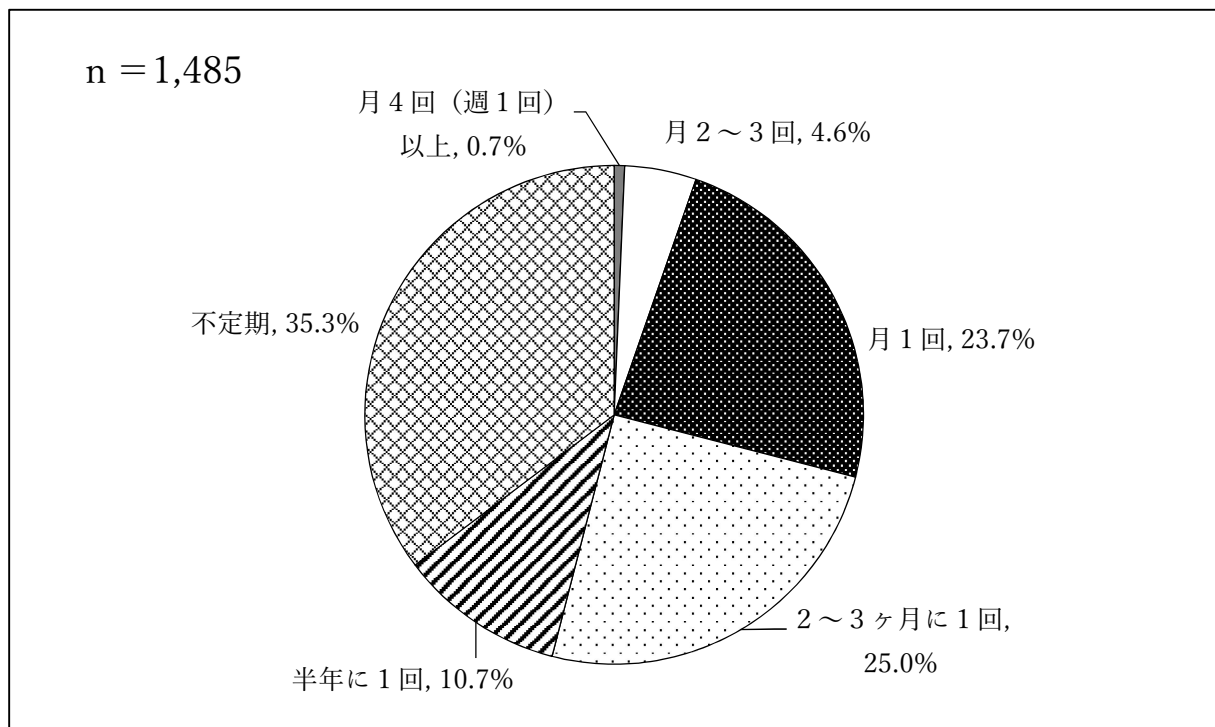
役員数 平均 6.9 人 (うち女性 平均 1.6 人)

【全体結果】

役員数の平均は 6.9 人、うち女性の平均人数は 1.6 人となった。
班長や組長を役員と捉えるかどうかで回答に幅が出ていた。

問5. 役員の定例会議の回数をお答えください。

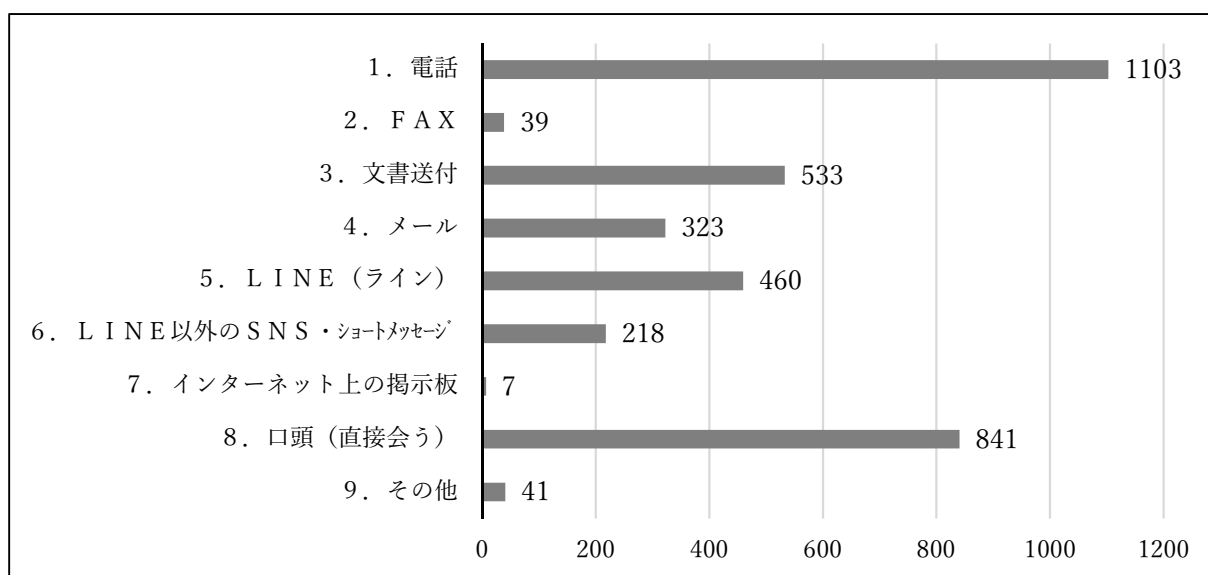
(番号に○をつけてください)



【全体結果】

役員の定例会議について、「不定期」(35.3%)が3分の1以上を占めた。「2~3ヶ月に1回」(25.0%)、「月1回」(23.7%)と続き、2つの合計が約半数を占めている。

問6. 役員同士の連絡手段として利用しているものを、以下のうち当てはまる番号すべてに○をつけてください。



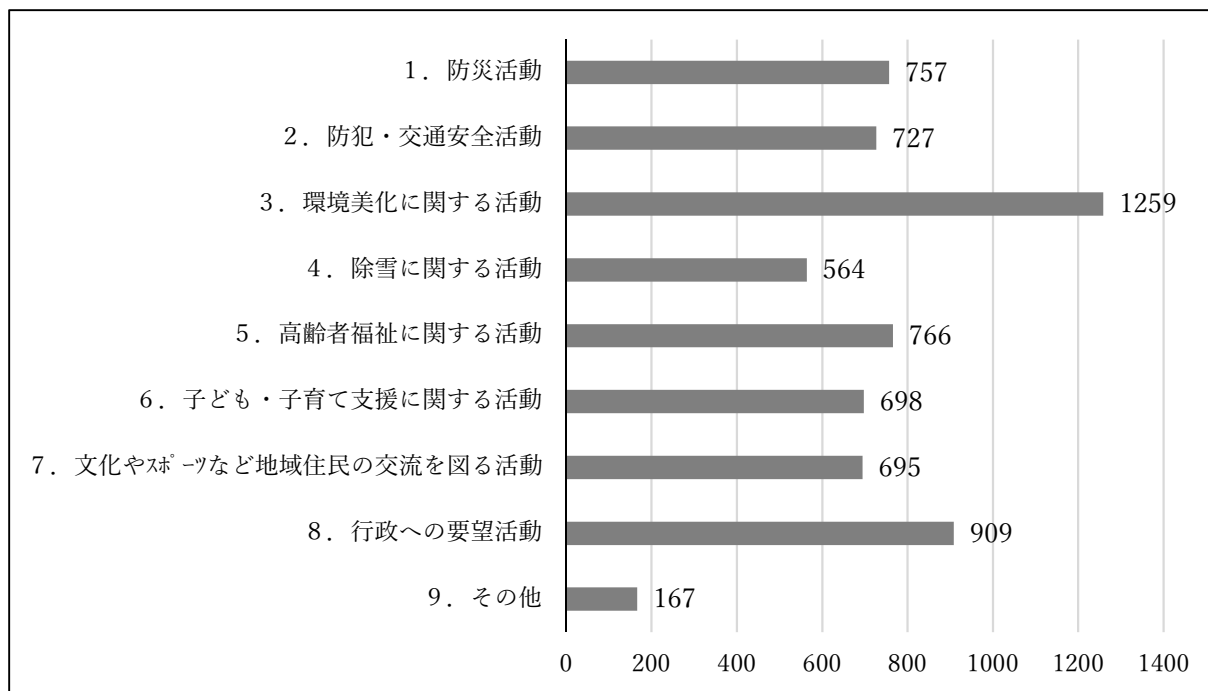
【全体結果】

役員同士の連絡手段について、昔ながらの「電話」(1,103件)と「口頭(直接会う)」(841件)が上位を占めた。一方、「LINE」(460件)や「メール」(323件)、「SNS・ショートメッセージ」(218件)といった、新しい連絡手段も一定程度浸透している。

3. 自治会・町内会活動の状況について

問7. 自治会・町内会で行っている活動の現在の実施状況についてうかがいます。

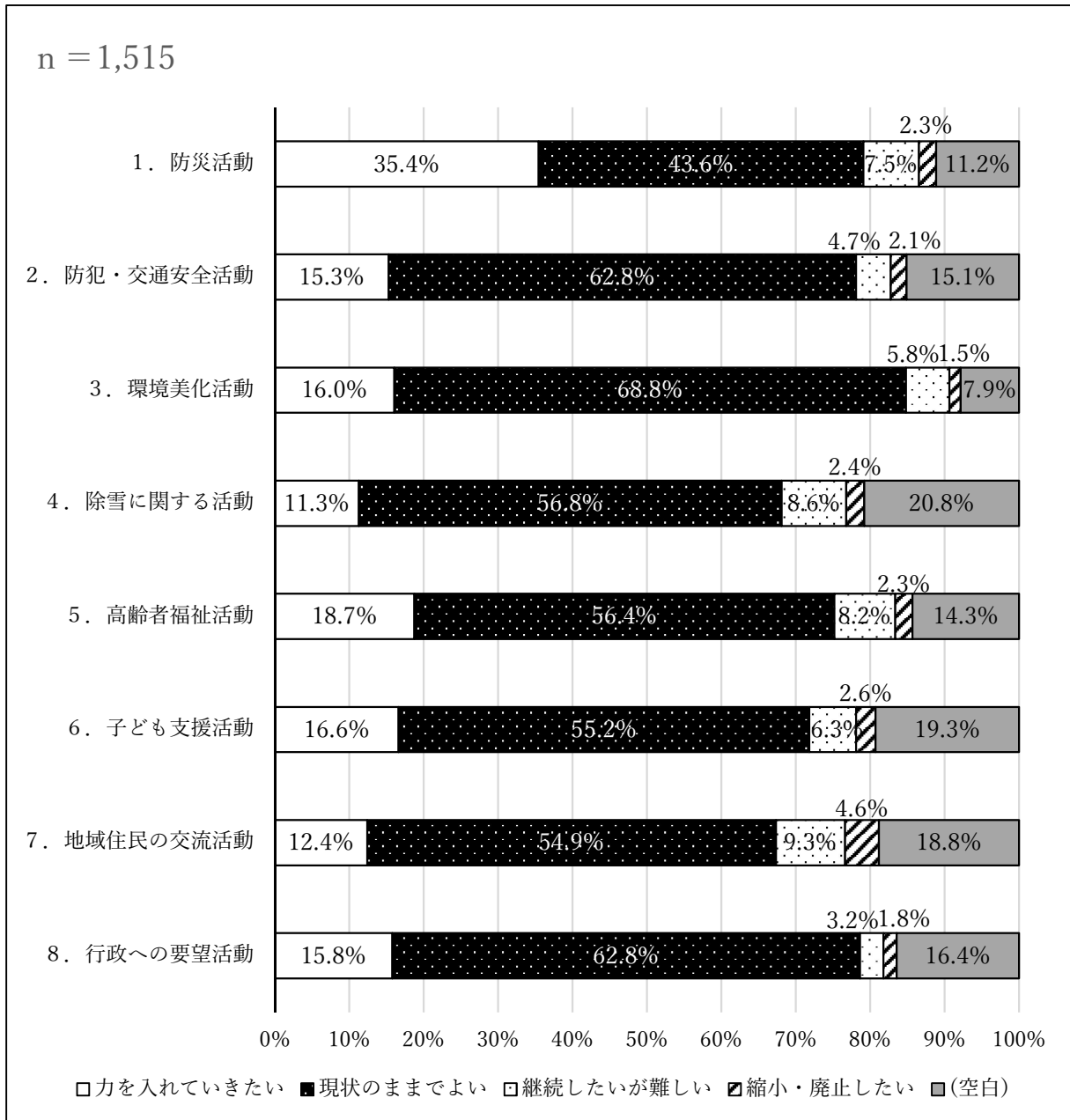
1) コミ協等の他団体が実施している活動とは別に、自治会・町内会主体で実施している活動の番号すべてに○をつけてください。(実施している活動は、新型コロナウイルスをきっかけに一時休止中の活動も含みます。)



【全体結果】

自治会・町内会活動の状況について、「環境美化に関する活動」(1,259件)が最も多かった。次いで、「行政への要望活動」(909件)が続き、他の活動には、大幅な差は見られなかった。

問7. 自治会・町内会で行っている活動の現在の実施状況についてうかがいます。
 2) 以下の活動について、今後の方向性をどのようにお考えですか？該当する回答欄に○をつけてください。(回答は会長ご自身のお考えで構いません。)

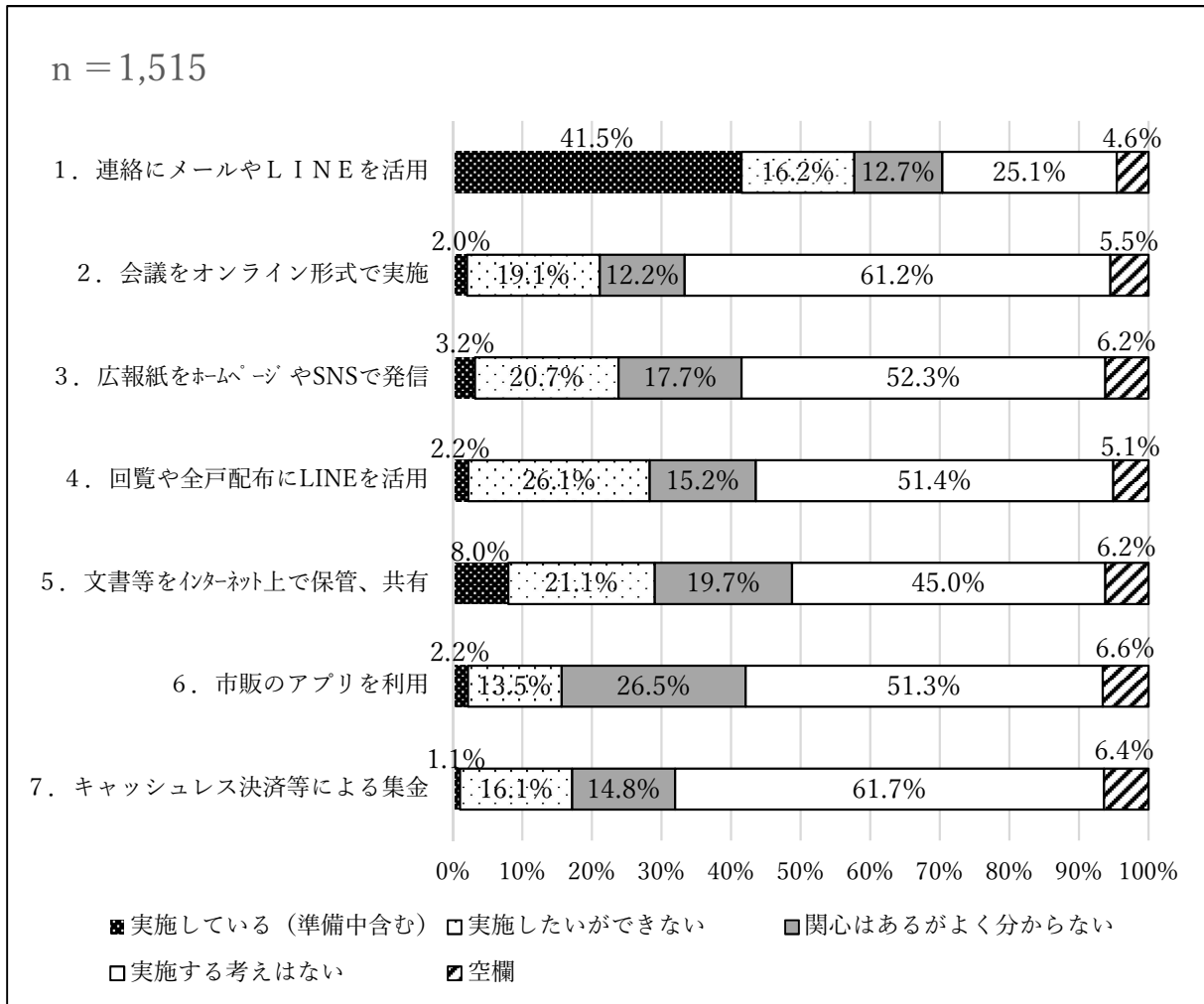


【全体結果】

自治会・町内会で行っている活動の今後の方向性について、「防災活動」(35.4%)が最も力を入れたい活動となった。他の活動では、どの活動も総じて「現状のままでよい」との回答が、半数以上で、最も多くの割合を占めた。

問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

1) 自治会・町内会における取り組み状況や意向について、項目ごとに回答欄に○をつけてください。

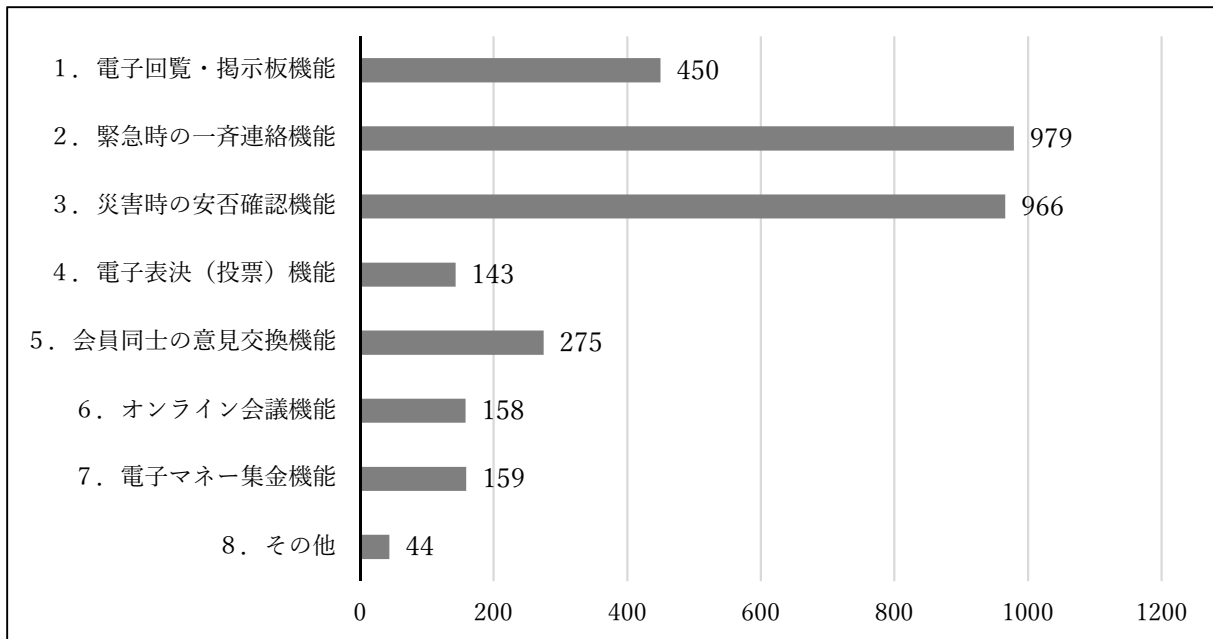


【全体結果】

自治会・町内会における取り組み状況や意向について、「連絡にメールやLINEを活用」(41.5%)が、最も実施している割合が多く4割を超えた。最も関心が高かったのは「市販のアプリを利用」(26.5%)で、4分の1以上となった。最も実施する考えがなかったのは「キャッシュレス決済等による集金」(61.7%)で、6割を超えた。そのほかは、どの取り組みも総じて、「実施する考えはない」が、最も多くの割合を占めている。

問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

3) 自治会・町内会の運営に活用できると思う機能、または、関心のある機能の番号すべてに○をつけてください。

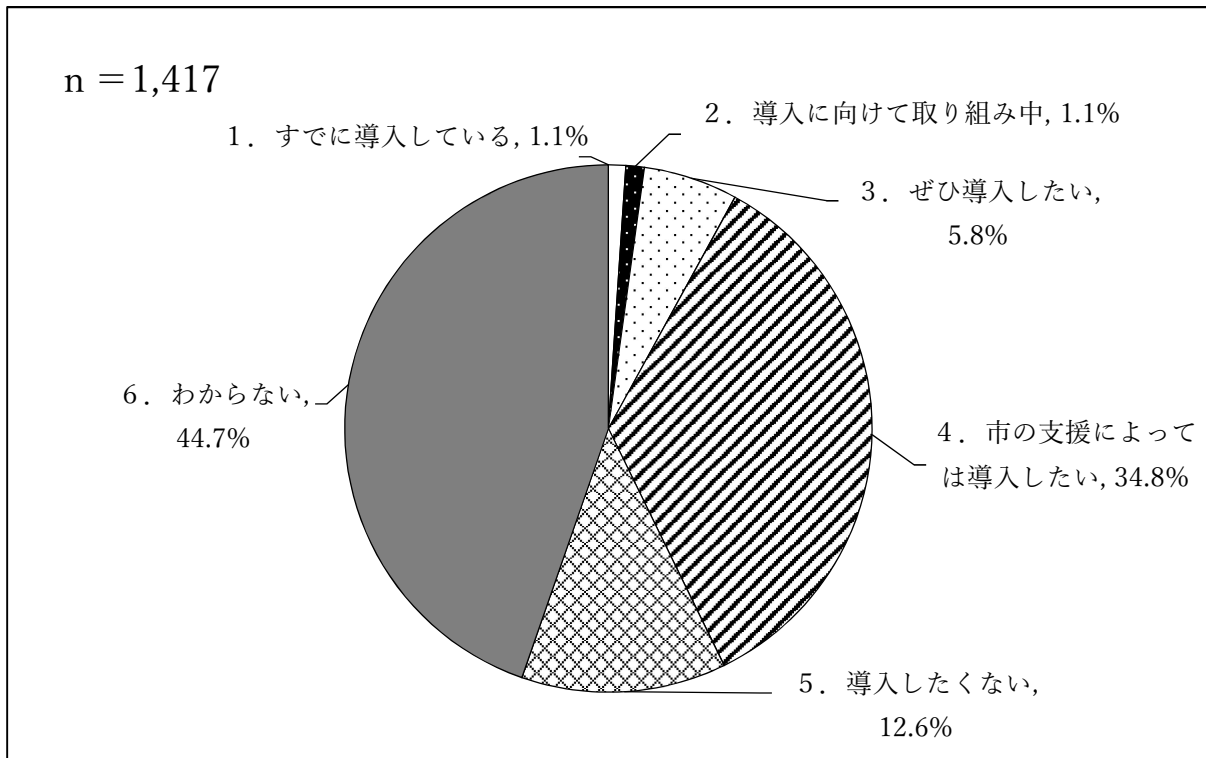


【全体結果】

自治会・町内会の運営に活用できると思う機能について、「緊急時の一斉連絡機能」(979件)と「災害時の安否確認機能」が飛びぬけて多くの回答件数となった。ついで、「電子回覧・掲示板機能」(450件)が続き、そのほかの機能については、100件から200件台に留まった。

問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

4) 現在、自治会・町内会向けに様々なスマートフォン向けアプリやサービスが提供されており、独自で導入に取り組んでいる自治会・町内会もあります。このような取り組みについて、あてはまる番号に○をつけてください。

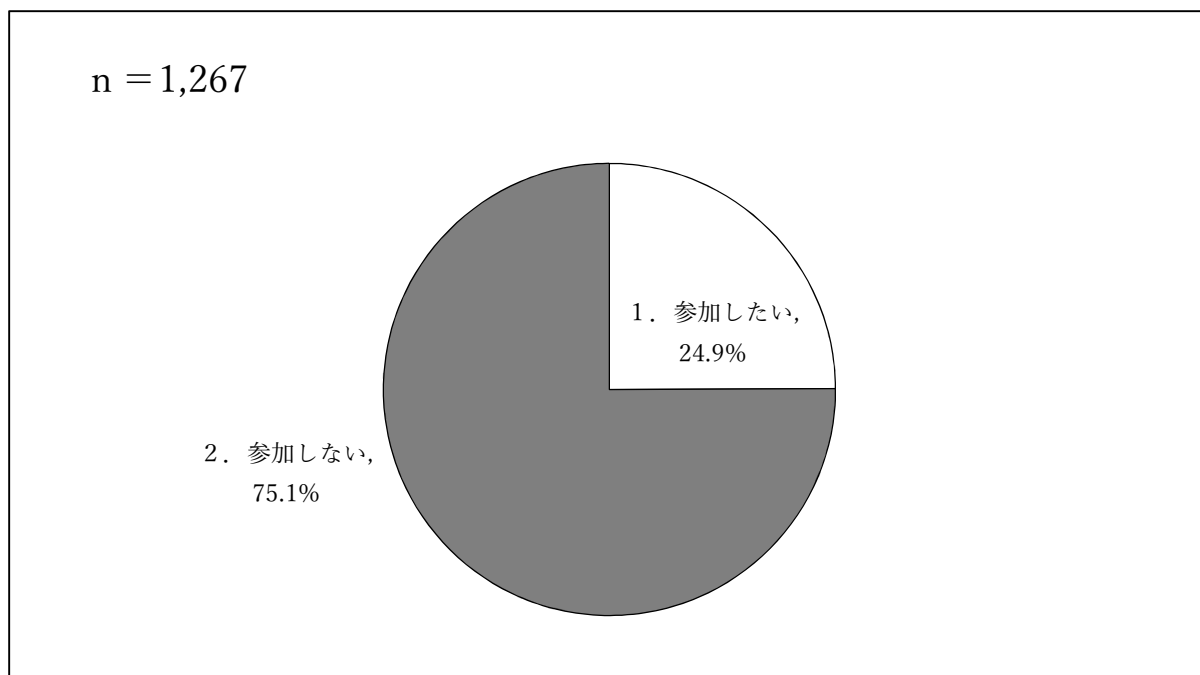


【全体結果】

最新アプリの導入について、「わからない」(44.7%)が最も多く、半数近くを占めた。一方、1～4の導入に前向きな回答の合計は4割を超え、否定的な回答は1割台に留まった。

問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

9) 市がデジタル化導入支援のモデル事業に取り組む場合、参加する意向があるか、あてはまる番号に○をつけてください。



【全体結果】

モデル事業への参加について、「参加したい」(24.9%)が回答した自治会の約4分の1を占め、321自治会・町内会が参加を希望している。